



まだまだ残暑が厳しい日が続いていますが、時折涼しい風が通りぬけたりと、幾分か過ごしやすい日がふえてきました。夏の疲れから体調を崩しやすくなる時期でもありますので、生活習慣をもう一度見直し、体調管理に心がけていきましょう。

1. 総合健診の受診について



6月に意向調査で受診希望された方に、受診の案内準備を進めております。送付書類をご確認のうえ受診してください。

県外での受診を希望された方	9月中旬～下旬に日本予防医学協会から受診の案内が送付されます。
県内で大熊町が実施する健診を希望された方	10月上旬～中旬に町から案内が送付されます。
県内でその他の市町村で健診を希望された方	随時受診の案内を町から送付致します。

※ まだ意向調査を出されていない方で、受診希望の方は保健センターまでご連絡ください。

お問い合わせ先

大熊町保健センター 0120-26-3844 (フリーダイヤル)
0242-26-3844 【内線551・552】

2. 不活化ポリオワクチンのお知らせ

ポリオの予防接種は、これまでの生ワクチンにより年2回（春・秋）行ってきましたが、9月1日より不活化ワクチンが導入され通年で接種できるようになりました。対象者にはこれから個別通知します。（導入後は、定期予防接種での生ポリオワクチンの使用は中止されます）

【不活化ポリオワクチンの接種は次のようになります】

変更前		変更後	
ワクチンの種類	生ポリオワクチン	不活化ポリオワクチン	
接種方法	経口投与	皮下注射	
接種回数	2回	4回	
接種間隔	41日以上の間隔をあけて2回	1期初回：20日～56日（※1）までの間隔をおいて3回 1期追加：初回接種終了後6月以上の間隔をおいて1回	
対象年齢（標準的年齢）	生後3ヵ月～7歳6ヵ月未満（3ヵ月～1歳6ヵ月未満）	生後3ヵ月～7歳6ヵ月未満 1期初回：3ヵ月～1歳未満 1期追加：初回接種終了後1年～1年6ヵ月未満	

※1 当面の間、56日以上おいても接種することができます。

【具体的な接種方法】

すでに受けている回数	不活化ポリオワクチンの必要接種回数
生ポリオワクチンを 2回	必要なし
生ポリオワクチンを 1回	3回
任意で不活化ワクチンを 1～3回	合計4回となるよう残りの回数
まだ受けたことがない	4回

※ 4回目の接種となる追加接種は、平成24年9月1日の導入時点ではまだ定期接種の対象となりません。該当の方（すでに不活化ワクチン等で3回の接種をお済みの方）は、保健センターにお問い合わせください。

【接種場所】

県内：直接、医療機関へ予約し接種してください（個別接種となります）

県外：まずは避難先自治体へお問合せください

【費用】 無 料

★4種混合ワクチン

4種混合ワクチン（DPT（3種混合）＋不活化ポリオの混合ワクチン）の定期接種への導入については、11月頃を目指しています。すでにDPT（3種混合）の接種を開始している方は、継続して受けていただき、ポリオについては、原則として単独の不活化ポリオワクチンを接種することとなります。

お問い合わせ先 大熊町保健センター 0120-26-3844（フリーダイヤル）
0242-26-3844【内線551・552】

3. 【こころの相談日】のお知らせ

眠れない・気持ちが沈む・アルコールの量が増えた・イライラする・もの忘れしやすい等の症状はありませんか？お気軽にご相談ください。

相談日：10月2日（火）

内容：精神科医との個別相談（30分程度）

対象：本人または家族

場所：ゆっくりすっぺ

会津地区以外の方はご相談ください。

お申し込み・お問い合わせ先

大熊町役場 会津若松出張所

保健センター

0120-26-3844



4. 結核予防週間（9月24日～30日）

結核は過去の病気ではありません。福島県内では、平成23年に228名の方が新たに結核を発症しています。そのうち、約6割が65歳以上の方です。（平成23年：144名（63.2%））

結核は、人から人にうつる感染症で、自分が結核だと気づかずに周りの人々にうつしてしまうことがあります。

結核は早期発見・早期治療により治すことができますので、結核に関心を持ち、正しい知識を身につけましょう。

結核はどんな病気？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。

結核を発病し重症化している人の咳やくしゃみのしぶきには、結核菌が含まれています。

「結核かな？」と思ったら、医療機関を受診しましょう。また、人にうつさないために、せきが出る時はマスクをつけましょう。

結核は、6か月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし、治療の途中で服薬をやめてしまえば治りません。それどころか菌は抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になることもあります。

こんな時はすぐに病院へ！

- ・ 長引く咳(2週間以上)
- ・ タンが出る
- ・ 長引く(体の)だるさ
- ・ 長引く微熱
- ・ 胸の痛み
- ・ 急に体重が減る

★重症になる前に
早期に受診しましょう。

65歳以上の方は年に一度の胸部レントゲン検査を受けましょう！

生後6ヵ月までにBCGを受けましょう！



総合健診でも実施します！





5. 双葉町・大熊町 合同交流サロンのご案内



借上げ住宅で避難生活を続けられている方々から「同じ町の人に会いたい」、「話がしたい」という声が多く寄せられ、下記のような交流サロンを開催することになりました。

みなさんでお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、レクリエーションなどを通して、心と体のリフレッシュをしませんか？

開催日：平成24年9月11日（火）（今後は毎月第2火曜日開催予定）

時間：午後1時30分～3時

場所：ショッピングセンターリスポ 2階
（住所）いわき市小名浜蛭川南5-6
（電話）0246-92-4298

当日は大熊の保健師も参加します。育児相談もできますよ！



赤ちゃんからお年寄りの方までどなたでも参加できます。

お問い合わせ先

相双保健福祉事務所いわき出張所

（住所）いわき市平字梅本15番地（電話）0246-24-6118

